

令和2年度

納所小学校 学校教育の重点

みんなが“大好き！”
納所小学校をめざして



京都市立納所小学校

学校教育目標

「自ら学び、認め合い、伸びていく子どもの育成」

めざす子ども像

① のぞみをもって、努力し続ける子

- ☆話をしっかり聞き、よく考える子
- ☆自分のおもいを表現し、伝え合える子
- ☆すすんで課題解決し、あきらめずに取り組む子

確かな学力【知】

② うつくしい心をもち、 自分も友だちも大切にする子

- ☆人とのつながりを大切にし、感謝や思いやりの心がもてる子
- ☆すすんであいさつができる子
- ☆自らを律し、きまりを守れる子

豊かな心【徳】

③ そうめいで、心身共にたくましい子

- ☆自分でしっかり考えて正しく行動できる子
- ☆めあてに向かって頑張る子
- ☆命を大切にできる子

健やかな体【体】

◆育てたい資質・能力

- ◇基礎的・基本的な知識・技能【知識・技能】
- ◇課題解決に向け自ら判断し，表現・行動する力【思考力・判断力・表現力】
- ◇学んだことを生活の場や自己の生き方にいかす力【学びに向かう力】
- ◇人の喜び，辛さや悲しみを受け止められる力【人間性】
- ◇健康や安全について考え行動し，命を大切に作る力【生きる力】

目標達成に向けて

(1) 安心して，楽しく学べる学校づくり

○わかる授業

- ・指導と評価の一体化
- ・言語活動の充実
- ・個に応じた指導の徹底
- ・基礎的，基本的な内容の定着
- ・焦点化した授業
- ・問題解決的な学習の充実
- ・地域の人材，教材をいかした学習
- ・帯時間や放課後学習の実践
- ・毎日の家庭での自学自習の習慣化

○楽しい学級

- ・一人一人を大切に
した学級経営
- ・気持ちのよい一日の
スタート
- ・いじめ，不登校の未然
防止と仲間づくり
- ・道徳教育の推進
- ・係活動の活性化
- ・人権教育の推進
- ・積極的な家庭訪問

○安心できる学校

- ・あいさつの徹底
- ・清掃指導の徹底
- ・健康教育の推進
- ・安全教育の徹底
- ・防災教育の充実
- ・組織で対応する生徒指導
- ・児童の思いをいかした
特別活動
- ・栽培，飼育活動の充実

(2) 教職員のあるべき姿

- ・教育公務員として望ましい言動
- ・個をいかした組織
- ・チームとしての対応
- ・子どもや親のせいにならず，実態から学び，実践する。
- ・課題解決に向けたプロセスを重視する。
- ・人材育成に向けた豊かな関わり
- ・学校評価システムをいかした取組の展開
- ・環境への配慮と効率のよい予算の執行
- ・保幼小中連携や地域ぐるみの教育の創造と充実

《取組の重点》

（１）学習指導の重点

- ①一人一人の思いや考えを大切にした授業や子どもの思いや考えを合わせてみんなで高め合う授業を展開する。
- ②子どもたち一人一人の良さを伸ばすため、学習形態を工夫した授業を展開する。
- ③基礎的・基本的な学力の定着に向け、研究・実践を推進し、授業の工夫・改善と家庭学習の習慣化に向けた取組を推進する。
- ④ジョイントプログラム、プレジョイントプログラム、全国学力学習状況調査の結果を踏まえ、学力向上プランを実行・推進する。
- ⑤子どもが生き生きと主体的に学習する総合的な学習の時間を展開する。
- ⑥道徳教育や、専科教員を中心とした外国語活動・外国語科の充実を推進する。
- ⑦子どもの学習到達状況の評価の充実に向け、評価基準に基づく指導補助簿等を活用し評価の信頼性を高める。

（２）人権教育の重点

- ①子どもたちの人間関係や学校、学級の規律は学校における人権教育の基盤であることを意識して教育活動を行い、年間を通して計画的に学習を進める。
- ②同和教育・外国人教育・男女平等教育・総合育成支援教育について、年間を通して計画的に行い、人権に対する認識を育て、子どもたちの自己の生き方に働く力を培う。
- ③横大路小学校・洛水中学校との交流を進める中で、教員が相互に切磋琢磨して人権課題のある子どもに対する指導力を高める。

（３）生徒指導の重点

- ①児童と「納所小学校 十のやくそく」を制定し、教職員が率先して取り組む。
- ②楽しい学校・学級の実現に向け、仲間づくり・絆づくりに取り組む。
- ③不登校傾向の子どもには、積極的で粘り強い指導や家庭への働きかけを継続する。

- ④生徒指導課題のある子どもの情報を共有し、初期対応を共通理解する。
さらに速やかな対応ができる体制をつくり、効果的に小・小中連携を進める。
- ⑤SC・SSWや児童相談所等の関係機関と連携を深め、不登校、いじめ、問題行動、虐待等の課題解決に取り組む。
- ⑥生徒指導三機能のチェックリスト・いじめアンケート・ク라마ネを活用し、自分の指導を振り返る。

(4) 健康教育の重点

- ①心と体の健康づくりに向け、全学年で計画的な健康教育の取組を進める。
- ②けがや病気の原因や予防法について発達段階に応じた理解を図り、自分の身を守ろうとする意識と態度の育成に努める。
- ③子どもの食生活の実態を把握しながら、望ましい食習慣の定着にむけて取り組む。
- ④「早寝、早起き、朝ごはん」の徹底に向け、保護者への働きかけを強化する。

(5) 安全教育の重点

- ①学校及び地域における生活安全について、子どもの意識の向上を図る。
- ②授業や学校行事をはじめ、休み時間その他における学校生活の安全について指導を徹底する。
- ③地域やPTAとの連携を密にし、交通事故や不審者による被害等にあわないよう登下校や放課後の過ごし方について指導を強化する。
- ④防災教育・防災管理について見直し、防災マニュアルの点検やあらゆる場面を想定した避難方法について確認し実践にいかす。
- ⑤自分の命を守り抜くための知識や態度が子どもの身に着くように、安全教育・防災教育を展開する。

(6) LD等支援の必要な子どもの教育の重点

- ①個別の指導計画・個の課題に応じた指導計画を作成し、適切な支援による教育を推進する。
- ②LD等支援の必要な子どもの課題を教職員が共通理解し、適切な支援により一人一人の学力向上を図る。

「みんなが「大好き！」納所小学校」

学校教育目標

自ら学び，認め合い，伸びていく子どもの育成

めざす子ども像

㊟ぞみをもって，

努力し続ける子

☆話をしっかり聞き，よく考える子
☆自分のおもいを表現し，伝え合える子
☆すすんで課題解決し，あきらめずに取り組む子

㊟つくしい心もち，

自分も友達も大切にする

☆人とのつながりを大切にし，感謝や思いやりの心がもてる子
☆すすんであいさつができる子
☆自らを律し，きまりを守れる子

㊟うめいで，

心身共にたくましい子

☆自分でしっかり考えて正しく行動できる子
☆めあてに向かって頑張る子
☆命を大切にできる子

確かな学力【知】

○学び合い，高め合う学習
ー伝え合いと学び合いー
○集団の中で個を伸ばす指導
○豊かな言語活動，言語環境

豊かな心【徳】

○約束や規律を身につけ，お互いを大切にする集団
○全教育活動を通した道徳教育の充実
○心をゆさぶる体験活動

健やかな体【体】

○望ましい生活習慣の確立
○運動することの楽しさや喜びを味わう場づくり
○地域ぐるみの「子ども安全」の取組の推進

情報の発信・公開

家庭・地域との連携

共に取り組む
学校づくり

子どもの情報や課題を共有

子どものための行動を共有

評価結果を共有

学校だより，学校 web サイト，PTA 活動，家庭教育学級，
参観・懇談会，学校評価，土曜学習，地域行事など

PTA

学校運営協議会

地域諸団体

家 庭

地 域

子どものために，保護者・地域とともに躍進する納所小学校